

時を越えて響く、名曲と舞曲から辿るクラシック音楽史



なぜ、これらの名曲は数百年の間、人々の心を捉え続けているのでしょうか？
 本公演では、バロック時代の「礼節」から、ロマン派の「自己表現」へ、
 そして近代の「新たな感性」へと至る音楽の進化を、実演と解説を交えて辿ります。
 下の表に沿って、時を越えて響く「クラシック音楽の変遷」を共にお楽しみください。



時代	作曲家・楽曲	概要・特徴
バロック (17~18世紀)	バッハ：メヌエット / ガヴオット ヘンデル：サラバンド クーラン：神秘的なバリケード リュリ：シャコンヌ	宮廷の教養と様式美 かつてのヨーロッパ貴族が嗜んだ、気品溢れる舞曲の世界。伝統的な形式の中に、荘厳さと華やかさが共存する「様式美の原点」をご堪能ください。
古典派 (18~19世紀)	モーツァルト：トルコ行進曲 ベートーヴェン：ピアノソナタ 「悲愴」第1楽章	形式の確立と人間性の解放 均衡のとれた美しい形式(デザイン)の時代。モーツァルトの軽妙な流行感から、ベートーヴェンが切り拓いた深い「個の感情」の表現へと進化します。
ロマン派 (19世紀)	ショパン：ノクターン第2番 リスト：ラ・カンパネラ	個性の爆発と自己プロデュース 作曲家の内面や個性が主役となる時代。サロン文化の寵児ショパンと、超絶技巧で大衆を熱狂させ自らをブランド化したリスト。対極にある二人の天才を聴き比べます。
印象派 (20世紀初頭)	ラヴェル：「クーランの墓」より メヌエット	伝統への敬意と新たな感性 20世紀の感性でバロック時代の舞曲を再構築。過去の伝統を尊重しつつ、光や色彩を音で描くような現代的で瑞々しい響きをお楽しみください。

※一部の楽曲では、当時の衣装を再現したバロックダンスをご覧いただけます。



ピアニスト 大澤 美穂 *Mihoko Osawa*

4才よりピアノを始める。大阪府立豊中高校、桐朋学園大学音楽学部卒業後、同大学研究科を経てブリュッセル王立音楽院マスターコース卒業。これまでピアノをラザール・ベルマンらに師事し、国内外のコンクールに多数入賞。留学中はベルギーを中心に欧州で演奏活動を行い、帰国後は幅広いレパートリーによるリサイタルを継続して今年で24年目となる。これまでにシューマン、ショパン、ドビュッシーのCDとアナログレコードを発売。近年行っている曲目解説を交えたトーク付きコンサートは、「曲をより深く理解出来て楽しめるようになった」と、多くの聴衆から支持を得ている。2026年は10月2日(金)14時より豊中市立文化芸術センター、10月10日(土)14時より王子ホール(銀座)にてピアノリサイタルを予定している。



バロックダンス 今野 典子 *Noriko Imano*

幼少よりクラシックバレエを学び、バロックダンスを樋口裕子氏に師事。また、イギリス・フランスにおいてもバロックダンスを学ぶ。芦屋大学バレエディプロマ取得。大阪・神戸・西宮の定期教室、また文部科学省の派遣事業等様々な場所でバロックダンスを指導。また介護福祉士等の資格も持ち、様々な年代の身体に合わせたダンス指導にも定評がある。ルネサンスダンス、バロックダンスの様々な公演に出演。神戸アートベンチャー事業などにも選出される。各地で身近にバロック音楽&ダンスに触れることができる催し、また様々な歴史的な建築物とのコラボも試み、大阪市中央公会堂においても大掛かりな仮面舞踏会を開催する。バロック&ロココサロン主宰、子ども芸術たんけん隊主宰。コートダンス・アンサンブルメンバー。



ベヒシュタイン・セントラム 東京



〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目5-1 日比谷マリンビル B1
 ● 東京メトロ「日比谷駅」A9出口 直結

豊中市立文化芸術センター



〒561-0802 大阪府豊中市曽根東町3-7-2
 ● 阪急宝塚線「曽根」駅より東へ約300メートル徒歩約5分